



LD等発達障害児・者親の会

「けやき」機関紙

第99号

2012年6月発行

発行者・代表 三輪 覚子
けやきホームページ URL

〒198-0014 東京都青梅市大門 1-787-8
[http:// keyakitokyo.web.fc2.com/](http://keyakitokyo.web.fc2.com/)

7月講演会のご案内

実践！ペアレント・トレーニング ～プログラムの基礎を学ぶ～

中学生～高校生の親が中心となって活動しているけやきの「自主グループつくし」では、子どもとの関わり方について学ぶため、今秋からペアレント・トレーニングに取り組む計画をすすめています。そのための導入として、専門的にご研究・ご指導されている中田先生にプログラムの基礎を教えていただき、実際に進めていくための準備にしたいと考え、今回の講演会を企画しました。

中田先生からも、ペアレント・トレーニングとは基本的に幼児から10歳前後に有効なプログラムではありますが、思春期の対象者であっても関わり方を振り返るためには大変効果的であるとお聞きしています。

講演では、ワークシートや実践内容を組み込んでの体験を通して進行したいと思っています。

親・保護者はもちろん、教育・支援の関係者、学生、一般の方々等関心のある多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

○日時 7月21日(土) 14:00～16:45 (受付開始13:30)

○場所 三鷹産業プラザ 7F 会議室

JR 中央線・総武線 三鷹駅南口より徒歩7分

○講師 立正大学 中田洋二郎先生

○申込みの際には、「7月講演会申込み」とし、下記の4項目を明記して、「けやき」メールアドレス oyanokai_keyaki@yahoo.co.jp へお申込みください。

①お名前 ②お立場 ③連絡先Eメールアドレス ④質問事項

○けやき会員以外の方は、資料代(1,000円)を当日お支払いください。

○保育はありません。

第5回NPO 法人全国LD親の会総会

- 日程：平成24年6月16日
- 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟研修室

6月16日(土)、渋谷区にある国立オリンピック記念青少年総合センター研修室(センター棟)にて、NPO法人全国LD親の会第5回総会が開催されました。



正会員46団体中、当日出席22団体・委任状19団体にて総会は成立し、すべての議案が満場一致にて決議されましたので、ご報告いたします。

けやき分の「議案書」は三輪が保管しておりますので、回覧希望の方はお知らせください。

また、東京会場での開催の際には当日のお手伝いもあり、今年も4名の会員の方にご協力いただきました。長時間にわたりありがとうございました。

総会に引き続いての研修会は、「LD等発達障害のある人の就労に向けて－会員調査報告と親の会の取組－」をテーマに開催されました。

まず、会員調査報告については、全国の親の会会員を対象に2003・2006・2009年の3回にわたり実施した「教育から就業への移行実態調査」アンケートの報告から、その概要を全国LD親の会理事長の内藤さんより説明がありました。この調査報告書はすでに皆さんにも各自でご覧いただいておりますが、私自身も何度も目を通していたつもりでしたが、今回あらためて詳しい分析内容を示してもらったことで、成人期の人たちの課題を再確認するものとなりました。

続いて、親の会の取組では、北海道「クローバー」長田さんと東京「けやき、自主グループWing」新堀さんから、それぞれの活動報告がありました。両会共に地域性を最大限に活かし、綿密に積み上げてこられた丁寧な取組ということがわかり、本当に感心しました。もちろん軌道に乗るまでのご苦労も感じられ、決して簡単に出来る事ではないこともわかりましたが、同じ親の会のこれからの方向として沢山のヒントやエールをいただきました。

一緒に参加した方からも、とても良かったとの感想をお聞きしています。

この場で「wing」の取組に感動したことを掲載するということは、「けやき」としての自画自賛のようになりますが、実際に「wing」に参加されている会員の方々と、ご協力いただいている指導者やボランティアの方々そして企業の方々が、本当に熱心に活動されているのを知っており、ぜひお礼を申し上げたいとの思いからです。皆様本当にありがとうございます。(三輪)

第 11 回 NPO 法人全国 LD 親の会公開フォーラム

6月17日(日)の公開フォーラムは、約200名の方々が熱心に参加されました。

☆16日・17日の2日間参加して

*16日は、北海道からは「クローバー」、東京からは「けやき」の実践報告があり、それぞれの地域の特徴が出ていました。

*17日は、特別支援法等が出来、改正等の話が聴けたのは良かったです。しかし、国と自治体の間には、まだまだ、連携が出来ていないことがまだあるような気がします。

O.N.



◇ 「クローバー」の活動の紹介と「けやきグループウイング」の活動の紹介を具体例としてあげられ、この様な実活動が行政を動かし法律化してゆき、ゆっくりだが支援が整っていくのを知ることが出来た。

H.S.

◇ 子どもが義務教育だった頃と比べ、世の中の意識も、制度も随分変化してきたんだなあと思います。

A.U.

◇ 大変勉強になるフォーラムでした。

障害者(児)、その家族といわれると、どうしても病理的な側面に目を向けられがちですが、そうではなく、健康的な側面に目を向けていくことが大切だと感じました。

障害があるから「出来ない」ではなく、障害があっても「できる」、障害がある故に「できる」という視点に社会全体がシフト出来たら、もっとみんなが生きやすい社会になるんだろうなあと思いました。

T.A.



5月例会の報告

5月の例会は、5月26日(土)東京都多摩社会教育会館201会議室にて、会員継続・新規入会手続き及び活動報告等のもと交流会として行われ、会員の中から二名の方に「子育て体験」をお話しいただきました。

Tさんは中一のお嬢さんが私立中に入るまでの涙と焦燥の日々を熱く語られました。

漢字の勉強で苦労したことや、教員仲間でもある専門家たちになかなか相談できなかったこと、まだけやきに入ってから一年しかたっていないのに、もう何年もいるような気がするのと何度もおっしやっていたことなどが印象的でした。

Hさんは息子さんが就労されるまでの道のりを時折ユーモアを交えて話されました。四十才を過ぎてから生まれた一人っ子で、東大へいれようと思っていたこと、障害だとなかなか認めたくなかったこと、勉強でも何でも親が自宅で何度も練習させてから取り組ませたことなど、本当に手塩にかけてこられた様子が伝わってきました。お二人の話に自分もそうだったとうなずく姿があちこちに見られ、体験談のあとも我が家はこうだったなど、和やかに話が進められました。

子どものありのままの姿を受け入れ、その子にあった道筋を考えていくこと、簡単ではないですが、それこそが親の役割なのだと思います。そしてそういう話合いの場所として親の会の果たす役割は非常に大きいと感じました。

「だからこそできること」という本の中で乙武洋匡さんが、「マイナスにいっぱい気づける人は、その分、同じベクトルでひっくり返しさえすれば、同じだけのプラスを見つけられる」と書いています。私もわが子の「LDだからこそできること」を一つでも多くみつけていきたいと思っています。 Y. M

東京LD親の会連絡会報告

平成24年度 東京LD親の会連絡会総会が、5月6日(日)「下北沢らぶらす」で開催されました。

- ① 平成23年度 活動報告
- ② 平成23年度 会計報告
- ③ 平成23年度 会計監査報告

拍手で承認されました。

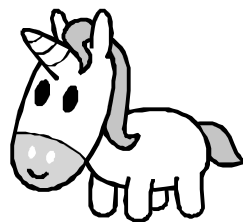
平成24年度 活動計画

- ・東京都への活動に絞る。
- ・自立生活研究活動「自立生活サポートチェック表」の改訂版作成については、継続する。

渉外担当 小形

自主グループ活動報告

ポーレポーレ



今年度活動予定は下記のとおりです。

- 4月8日 室内活動（近況報告、カードゲーム、年内の活動計画）
- 5月13日 高尾山登山（晴天に恵まれ、楽しい1日でした）
- 6月17日 野球観戦（西武ドーム）
- 7月8日 葛西臨海公園（水族館）
- 8月12日 室内活動（ゲーム等）
- 9月9日 調理
- 10月14日 12月の恒例行事 ポーリング・カラオケ予約
- 11月11日 上野へ ツタンカーメン展
- 12月 ポーリング・カラオケ

13年目を迎えたポーレポーレは4月の活動内で上記の計画を立てました。

自分の意見を出して採用されれば、その日だけは参加したいと思う子どもや年に1度でもいいから参加してほしいという思いから個人の意見を考慮して計画を立ててくださるボランティアの方々、ポーレポーレは行きたい時に、好きな時に、参加できる子ども達の居場所です。

メンバーの中に学生がいなくなり、皆それぞれ社会の一員として厳しい状況の中で生活しています。

今後益々ポーレポーレが個人にとって必要不可欠な場所になるのではないのでしょうか。

それがポーレポーレを立ち上げた理由の1つでもあるわけですから…。

（ポーレポーレ代表）

おやじの会



今年度の具体的な活動はスタートしていませんが、昨年度と同じように例会後等の懇親会を主体に、今後も少ないメンバーではありますが、おやじの会ならではの活動を通して子供の理解・支援を深めて行きたいと考えております。

（藤本）

キャリア教育講座 Wing



◇ 今年度の親講座は、4回の日程を終了しました。
 今年は、昨年度の内容から、更に充実した内容で行われ、グループワークや講義、具体的な対応を教えていただくなど、盛りだくさんの内容に対して、熱心に聞き入る受講者の姿が印象的でした。

内容は以下の通りです。

「発達障害のある生徒のキャリア教育を考える」 講師 神奈川県立保健福祉大学教授 松為信雄氏
「就労と仕組みの制度」～手帳取得から障害者雇用全般～ 講師 就労移行支援事業やまぐちや 市村たづ子氏
「就労までのプロセス」 講師 小金井市障害者就労支援センター ボーバル聡美氏
「企業が求める就労の為のスキルとは」 講師 株式会社いなげやウイング 管理運営部長（兼）事業推進部長 石川 誠氏

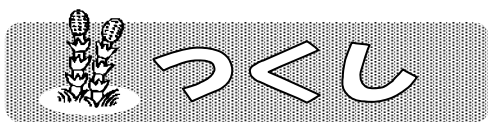
◇ 親子講座の日程が決まりました！
 今年度は、まず、受講者の親が希望を出しました。親だけで企画する事は初めての試みで、熱心に企画する姿に、ボランティアさんが応援の声を上げる場面もありました。
 5回の講座ですので、キャリア教育全般とはいきませんが、親の願い、子の希望に応える企画ができました。

7月	オリエンテーション・見学先説明 他	9月	事後指導
8月	事前指導	10月	振り返り・作文発表・修了式
8月	見学+体験		

講座は7月8日から始まります。

“協力してくださるボランティアさん、企業の方々に感謝！！”

(代表 新堀)



5月12日(土)の交流会では、7月に行われる講演会
の準備や具体的な役割について話し合う予定でしたが、見学者の参加があったので、急遽、其々いま一番聞きたい・知りたい内容について話し合う交流会と致しました。

参加者は、それぞれの子どもの様子を紹介し、中でも見学者が一番知りたい内容である「中学への進路」について、皆の体験談を基に話し合いをいたしました。

子どもが辛そうにしている姿に、親の心はザワツキます。故に、励ますつもり言葉かけが、反って子どもの気持ちに沿えない状況に陥りってしまうことが往々にして起こります。現在困っていることが、親としての困り感なのか、子どもの困り感なのか。その視点について、ペアレント・トレーニングの概要にも触れつつ話し合いました。

7月の講演会で、中田洋二郎先生から「ペアレント・トレーニング」の基礎を学びます。その後、8回に分けて思春期に入る我が子との関わり方を、ペアレント・トレーニングの手法を用いて具体的に学び合う予定です。7月の講演会を楽しみにしています。

(T・T)

散歩道



○月▽日

朝、いつものように起きて顔を洗った後、鏡に映った自分の顔を見て、あらびっくり。口角がへノ字に曲がって、いかにも不機嫌そう！目もなんだかふてくされて、顔全体が暗い感じ。思い当たることはといえば～思春期真っ只中の娘と、どの高校へ進学したらいいのやらの問題児の息子の存在。出るのはため息ばかり。

母である私が朝からこんな顔してはいられないと、口角をあげ、歯をみせ、目を開き、鏡に向かって思いっきり作り笑顔をした。・・・作り笑顔のまま5分経過・・・不思議なことに、ちょっとばかり明るい前向きな私になっているのではないですか。さらに10分後・・・化粧が終了し、もう一度鏡に向かって、思いっきり満面の笑顔・・・まだまだわたしもイケてるぞという気分になってくる。

天気も良いので、このイケてる気のままベランダで洗濯物を干す。風も気持ちが良い。物干し竿に洗濯物をかけるついでに、足を爪先立ちして両手を太陽に向け伸ばしストレッチをすると肩甲骨のコリもとれ、とてもすっきりとした気分になれる。

気分は上々、朝のどんよりとした気持ちはどこかに行ってしまったらしい。

いつも何かに刺激を求めている若者ではないけれど、日常にちょっとした気分転換のお楽しみ・幸せが見つけられると生活が楽しくなって、張りが出てくるように思います。例えば、庭で草むしりをしていたら野ばらの花が咲いているのを発見して

嬉しくなってしまうたり、お気に入りの梅ちゃん先生（NHKの朝ドラ）の時間が待ち遠しくて、わくわくしながら朝食後のお皿を洗ったり等々。本当に小さな楽しみなのですが、いやいや重く感じられる体を動かして掃除をしているのと、さあこれが終わったら楽しい韓ドラの時間、続きはどうなっているかなとわくわくしながら掃除をするのでは、全く気持ちの持ちようが違います。

スパゲティ1本分の自分だけの小さな幸せ・楽しみ探しのプロを目指しつつ、自分の心・体を大切にしていこうと思った朝の出来事でした。

(M H)

会員入会状況

<参考資料>平成24年度・けやき会員のお子さんの構成表（5月末現在の人数）

小学生 高学年	中学生	高校生 相当	18歳～ 20歳	21歳～ 25歳	26歳 以上	計
1	4	7	6	12	9	39

（4月1日現在の年齢を基準に作成）

記：39名中4名が女子である。昨年同時期との比較では、中学生が3名減少したが、18歳以上が4名増加し、総人数は1名増である。

会員を募集しています

「けやき」では、年間を通して新規入会の受付をしています

親の会「けやき」は、正会員・賛助会員・通信会員・ボランティア会員の皆様のご協力とご支援によって活動しています。

発達障害とその周辺児・者の親（保護者）の会として、互いに学びあい、居場所となれるように話し合いを重ねています。入会をお考えの方には、事前に説明会も開催していますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

*新規入会金（初年度のみ）2,000円 *年会費 5,500円

詳しくは、「けやき」ホームページ <http://keyakitokyo.web.fc2.com> 「入会のご案内」をご覧ください。

またお問い合わせや連絡は、oyanokai_keyaki@yahoo.co.jpにてお伺いします。

編集後記

当号から編集を担当しています。不慣れですがよろしくお願ひします。

(T M)